

課題提示型教材 5 「ネットワークはみんなのもの」

1. 対象 小学校高学年
2. 指導目標 ネットワークは共同で使っているものだという意識を高めると共に、不正行為は決してしないとする態度を育てる。
3. 授業展開

段階	学習活動	留意点
導入	ネットワーク上でデータ共有する便利さについて話し合う。	これまでに共有フォルダを使ってきた経験などを思い出させる。
展開	<p>○教材視聴 課題提示型教材 5 「ネットワークはみんなのもの」を視聴する。</p> <p>○課題提起 1 やすおさんのしているいたずらは、どうしていけないのでしょうか。</p> <p>○課題提起 2 やすおさんのいたずらをそのままにしておいた場合、誰にも知られずに済むのでしょうか。</p> <p>○解説 解説ページを参照し、不正行為は決してしてはならないことを再認識する。</p>	<p>自分たちにも起こりうることであることを認識させる。</p> <p>勝手な振る舞いが他者の迷惑になることを考えさせる。</p> <p>ネットワーク利用の記録（ログ）の存在を考えさせる。</p> <p>不正アクセスは犯罪であることにも、簡単に触れるようにする。</p>
整理	<p>○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。</p>	<p>便利なネットワークを気持ちよく使っていきたいとする感想も引き出したい。</p>